

Ⅲ平成28年 6月 大王製紙(株) 産業廃棄物処理施設の維持管理の状況に関する情報

1. 総括 産業廃棄物処理施設の維持管理における基準値超過はありませんでした。

2. 維持管理の状況に関する情報

	三島工場								可児工場							
	11号ホイラー			15号ホイラー			20号ホイラー		23号ホイラー			4号ホイラー				
1) 廃棄物の種類と処分量	汚泥	木くず	廃プラスチック類	汚泥	木くず	廃プラスチック類	紙くず	汚泥	廃プラスチック類	汚泥	木くず	廃プラスチック類	汚泥	木くず	燃え殻	紙くず
(1) 産業廃棄物の種類																
(2) 処分量 (トン/月)	9,745	0	46	7,911	221	218	41	8,060	38	4,829	0	22	4,580	175	94	1.5
2) 産業廃棄物処理施設での維持管理状況																
(1) 燃焼ガス温度、集じん器前燃焼ガス温度、排ガス中の一酸化炭素濃度																
①燃焼ガス温度 (°C)	896			966			940		919			872				
(維持管理基準) (°C)	(800以上)			(800以上)			(800以上)		(800以上)			(800以上)				
②集じん器前燃焼ガス温度 (°C)	190			200			196		194			192				
(維持管理基準) (°C)	(おおむね200以下)			(おおむね200以下)			(おおむね200以下)		(おおむね200以下)			(おおむね200以下)				
③排ガス中の一酸化炭素濃度 (ppm)	44			31			25		10			35				
(維持管理基準) (ppm)	(100以下)			(100以下)			(100以下)		(100以下)			(100以下)				
④排ガスを採取した位置	別図1			別図1			別図1		別図2			別図3				
⑤測定結果が得られた日	平成28年7月1日			平成28年7月1日			平成28年7月1日		平成28年7月1日			平成28年7月1日				
* 燃焼室中の燃焼ガスの温度、集じん器に流入する燃焼ガスの温度、排ガス中の一酸化炭素の濃度は、全て連続測定しており、記載している数値は、月間平均値です。 なお、連続測定のトレンドグラフは、三島工場及び可児工場でご覧可能です。																
(2) 排ガス中のダイオキシン類濃度																
①ダイオキシン類濃度 (ng-TEQ/m <sup>3</sup> N)	0.001未満			0.001未満			0.038		0.028			0.0032				
(排出基準) (ng-TEQ/m <sup>3</sup> N)	(0.1以下)			(0.1以下)			(0.1以下)		(0.1以下)			(0.1以下)				
②排ガスの採取日	平成27年12月4日			平成27年8月6日			平成27年9月24日		平成27年7月22日			平成27年6月25日				
③排ガスを採取した位置	別図1			別図1			別図1		別図2			別図3				
④測定結果が得られた日	平成27年12月24日			平成27年9月11日			平成27年10月23日		平成27年8月11日			平成27年7月29日				
* ダイオキシン類濃度は、最新のデータです。採取日から測定結果が得られる日まで、約1ヶ月かかります。																
(3) ばいじん除去の実施年月日																
①冷却設備	平成27年12月 7日 ～ 12月15日			平成28年2月19日 ～ 2月29日			平成28年6月 5日 ～ 6月11日		平成28年3月 5日 ～ 3月 9日			平成28年5月11日 ～ 5月15日				
②集じん器	〔電気集じん器 連続除去〕			〔電気集じん器 連続除去〕			〔電気集じん器 連続除去〕		〔バグフィルター 連続除去〕			〔電気集じん器 連続除去〕				
③湿式スクラパー	平成27年12月 9日 ～ 12月11日			平成28年2月22日 ～ 2月24日			平成28年6月 7日 ～ 6月10日		平成28年3月 9日 ～ 3月11日			設備無し				
* 記載した年月日は、冷却設備、湿式スクラパーに堆積したばいじんを除去した日を示しています。																

(4)ばい煙濃度

①硫黄酸化物(K値)

最大値		0.10	0.06	0.03	0.09	2.57
平均値		0.02	0.03	0.00	0.00	0.76
(排出基準)		(6以下)	(6以下)	(6以下)	(6以下)	(11.5以下)

②窒素酸化物(濃度)

最大値	(ppm)	151	154	176	206	226
平均値	(ppm)	123	125	150	173	138
(排出基準)	(ppm)	(300以下)	(300以下)	(250以下)	(250以下)	(250以下)

③排ガスの採取日

連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定
------	------	------	------	------

④排ガスを採取した位置

別図1	別図1	別図1	別図2	別図3
-----	-----	-----	-----	-----

⑤測定結果が得られた日

平成28年7月1日	平成28年7月1日	平成28年7月1日	平成28年7月1日	平成28年7月1日
-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

\* 硫黄酸化物(K値)は、連続測定している硫黄酸化物濃度の1時間平均値の月間最大値と平均値から算出した数値です。K値に単位はありません。

K値は、硫黄酸化物排出量を有効煙突高さの2乗で割った値で、排出基準として大気汚染防止法で定められた数値です。

硫黄酸化物排出量は、地域別に定められたK値で規制されており、K値が小さいほど規制が厳しくなります。

(5)ばいじん濃度

①ばいじん濃度

(g/m <sup>3</sup> N)	0.001未満	0.001	0.041	0.001未満	0.030
(排出基準)	(g/m <sup>3</sup> N)	(0.08以下)	(0.08以下)	(0.3以下)	(0.3以下)

②排ガスの採取日

平成28年6月8日	平成28年6月8日	平成28年6月1日	平成28年6月1日	平成28年6月8日
-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

③排ガスを採取した位置

別図1	別図1	別図1	別図2	別図3
-----	-----	-----	-----	-----

④測定結果が得られた日

平成28年6月10日	平成28年6月10日	平成28年6月3日	平成28年6月3日	平成28年7月11日
------------	------------	-----------	-----------	------------

\* ばいじん濃度は、2ヶ月に1回測定します。記載の数値は最新のデータです。また、採取日から測定結果が得られる日まで、最大で約3週間かかります。

(6)塩化水素濃度

①塩化水素濃度

(mg/m <sup>3</sup> N)	0.3未満	0.5	1.0	0.3	100
(排出基準)	(mg/m <sup>3</sup> N)	(700以下)	(700以下)	(700以下)	(700以下)

②排ガスの採取日

平成28年5月24日	平成28年5月24日	平成28年5月24日	平成28年5月24日	平成28年6月8日
------------	------------	------------	------------	-----------

③排ガスを採取した位置

別図1	別図1	別図1	別図2	別図3
-----	-----	-----	-----	-----

④測定結果が得られた日

平成28年5月25日	平成28年5月25日	平成28年5月25日	平成28年5月25日	平成28年7月11日
------------	------------	------------	------------	------------

\* 塩化水素濃度は、2ヶ月に1回測定します。記載の数値は最新のデータです。また、採取日から測定結果が得られる日まで、最大で約3週間かかります。